

宇都宮市立陽南中学校：宇都宮市陽南2丁目4-58

☎028(658)1293

～ 家庭・地域社会との相互連携により「生きる力」をはぐくむ教育を推進します ～

はじめまして

ご挨拶が大変遅くなりましたが、4月から陽南中学校でお世話になっております校長の山口弘倫と申します。前任の宇賀神校長先生の素敵な思いがこもった「南十字星」（「南」が「陽南」，「十字」が「学校と保護者の皆様の架け橋」，「星」が「生徒の輝く姿」をイメージして名付けた）を引き継ぎ、たよりの発行をさせていただきます。

さて、コロナ禍の影響で約3ヶ月にも及んだ休業期間が終わり、学校が再開され約2ヶ月が経過しました。この期間、多くの行動が制限され、あたりまえと考えていたもののありがたみを改めて感じているところです。

三つの心

今から10年前にチリ北部のサンホセ鉱山で、地下700mに作業員33名が取り残される落盤事故がありました。劣悪な環境の中で、2ヶ月を超える地下生活に耐え抜き無事全員が救出されました。後に、全員が元気に救出された理由には「三つの心」があったからだと言われました。その三つの心とは次のとおりです。

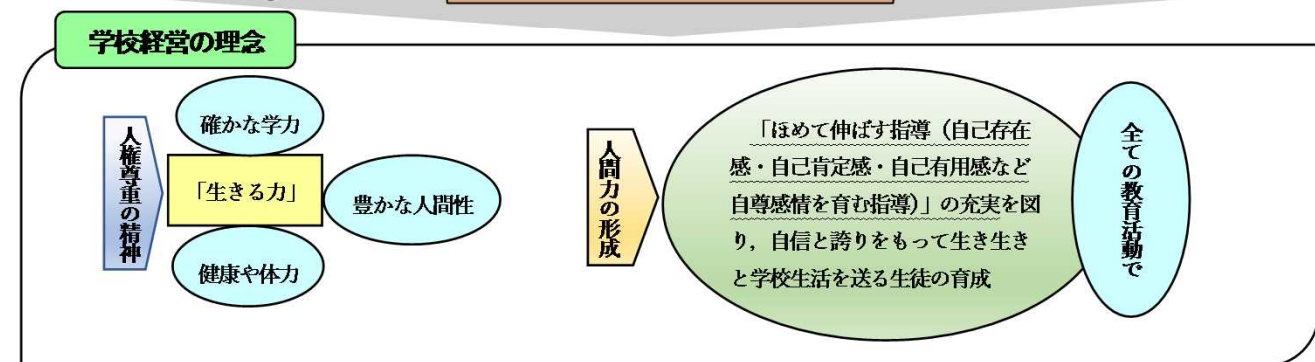
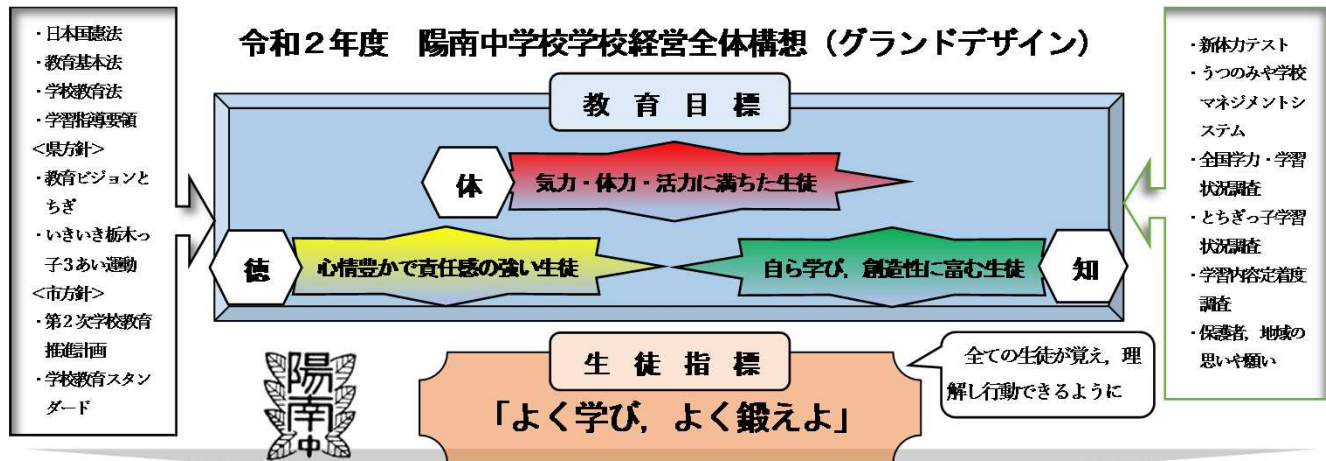
- ①「あきらめない心」：チリ鉱山での生存者は家族や恋人のために生きる意味を見だし、あきらめなかったそうです。生きようとする強い意志があったということです。
- ②「優しい心」：作業員の中には鉱山経営会社の社員ではない作業員もいて、事故当初は孤立をしていたそうですが、リーダーの働きかけで、仲良くなり団結できたということです。
- ③「工夫(努力)する心」：閉じ込められている最中でも作業員は土砂を運び出したりして居住空間を広げたり、トイレを別に作ったそうです。そのことが病気の感染を防ぎ、長期間の生活に耐えることができたと言われています。

学校が再開し、仲間と学ぶことができるようになりましたが、第2波が心配される状況下において、新しい生活様式の徹底のため、まだまだ生活の中で制限しなくてはならないことが沢山あります。また、様々な行事がなくなっていく喪失感など様々な不安があると思います。しかし、そうしたことを嘆くのではなく、仲間と支え合い、創意工夫の中で新たな学習や生活、行事の持ち方を見つけていくこと、長期的な目標をもつことが大切だと思います。ぜひ、友達同士や一人ひとりが「三つの心」を意識した生活をしていてくれることを期待しています。

令和2年度 学校経営計画（裏面グランドデザイン参照）

本校では、「よく学び よく鍛えよ」の生徒指標のもと、「気力・体力・活気に満ちた生徒 心情豊かで責任感の強い生徒 自ら学び、創造性に富む生徒」を教育目標とし、人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生き抜くために必要となる「生きる力」を身に付けさせる指導に力を入れてまいります。また、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成してまいります。





- 学校経営の方針**
- ① 生徒の実態や学校・地域の特性を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
 - ② 個に応じた指導、指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
 - ③ 発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
 - ④ 道徳の時間の充実を図り、道徳的実践力を高め、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
 - ⑤ 健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりに努める。
 - ⑥ 組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
 - ⑦ 保護者や関係機関等との連携を十分に図り、きめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育の充実を努める。
 - ⑧ 義務教育9年間を見通した系統的な指導や教職員の交流、研修会を実施するなど、小中一貫教育の充実を努める
 - ⑨ 地域教育資源を積極的に活用し、特色ある学校づくりに努める。
 - ⑩ 積極的な情報提供、地域協議会の活動の活性化を通して地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。
 - ⑪ ワークライフバランスの実現のため、業務の効率化や勤務時間の適正化を図る。

==重点目標==

- 学校経営**

 - ① 学年間の交流促進による、風通しのよい学校づくり
 - ② 生徒間、生徒・教職員間、教職員間のよりよい人間関係づくり
 - ③ 地域と連携を図った特色ある学校づくり
 - ④ 小中学校間で課題の共有を図り、解決に取り組む小中一貫教育
 - ⑤ ホームページやメールを活用した情報提供の充実
 - ⑥ 働き方改革の推進

学習指導

 - ① 一人一授業の公開や教科部会の活性化により指導力の向上を図る
 - ② 学び合う活動を通し、生徒のコミュニケーション能力などの育成を図る
 - ③ 特別の教科「道徳」のさらなる研究推進と年間指導計画の作成
 - ④ 家庭学習の充実について検討し、生徒の家庭学習の定着を図る
- 生徒指導**

 - ① 関係機関との連携を図った教育相談体制の構築（不登校対策）
 - ② いじめ防止環境の構築と早期発見・対応体制の充実
 - ③ 組織的に対応する体制の強化（報告・連絡・相談の徹底）
 - ④ ネットトラブル等の未然防止

健康（保健安全・食育）・体力

 - ① 交通ルールやマナーの指導を通した自他の生命尊重に努める生徒の育成
 - ② 自ら安全に活動できる生徒の育成
 - ③ 食に関する指導の充実

==特色ある学校づくり==

- 【陽南地域学校園教育ビジョン】**

地域に根ざした豊かな心をはぐくむ小中一貫教育

～子どもの主体的な活動を通して～

テーマ：生きる力を育むコミュニケーション能力の育成

～主体的・対話的で深い学びを通して～

<育てたい資質・能力>

～体験活動を通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度の育成及び自己の生き方を考える態度の育成

<具体的取組>

 - ・農業体験学習（学校菜園）
 - ・文化祭合唱コンクール
 - ・働く人に学ぶ
 - ・各種地域ボランティア活動

自転車利用時のヘルメットについて

多くの生徒は、放課後や休日また部活動等で自転車を利用していると思いますが、家庭でも学校・地域でも心配なのは交通事故です。



子どもたちの大切な命を守るため、ぜひ、ヘルメットの着用をご指導ください。

また、全国的に自転車加害による死亡・重症事故や高額な損害賠償訴訟判例も見受けられることから、自転車任意保険の加入についてもご検討いただくことを推奨いたします。

こんな判例が出ています！

母親驚愕「息子の自転車事故の賠償金9500万円」
(産経新聞2013. 7. 13)

当時小学校5年生だった少年(15)が乗った自転車と歩行者との衝突事故をめぐる損害賠償訴訟で、神戸地裁は、少年の母親(40)に約9500万円という高額賠償を命じた。5年近く前に被害に遭った女性(67)は、事故の影響で今も寝たきりで意識が戻らない状態が続いているだけに、専門家は高額賠償を「妥当」と評価する。

判決で裁判官は、少年が時速20～30キロで走行し、少年の前方不注視が事故の原因と認定。事故時はヘルメット未着用だったことなどを挙げ、「指導や注意が功を奏しておらず、監督義務を果たしていない」として、母親に計約9500万円の賠償を命じた。



感謝！

今年の5月12日(火)と29日(金)に、本校の地区内で起業されている「カザシ工業株式会社」様から計4千枚もの不織布マスクを寄附していただきました。学校教育活動の中で有効に活用させていただきます。

本当にありがとうございました。



<体罰に関する電話相談ダイヤル(相談窓口)及び管理職への相談機会について>

宇都宮市、本校では体罰の根絶に取り組んでいます。今年度も体罰に関する相談を下記の予定で実施いたしますので、直接、副校長または校長にまでご連絡ください。

【電話相談ダイヤル】

○相談期間：通年 ○電話番号：028(658)1293

【面談による相談】※希望される場合は、日程調整のための連絡をお願いします。

○相談期間：令和2年8月17日(月)～18日(火)の2日間

○相談時間：10:00～12:00 14:00～16:00



「心を育てる50の言葉」について

宇都宮市では平成27年度から、スタンダードダイアリーに「心を育てる50の言葉」が載せられました。先人の知恵がつまった「ことわざ」や「短い言葉」の中に人生の真実や万人への戒めを表した「格言」、偉人たちの「名言」等の中から生徒に継承したい言葉が掲載されています。

ぜひ、ご家庭でも話題にいただき、子どもたちの心の教育に役立てていただければと思います。学校だけでなく少しずつ紹介していきます。

- 1 麻の中の蓬： 蓬は横に広がっていく植物ですが、天に向かってまっすぐに伸びる麻の中にまじっていれば、麻のようにまっすぐ育っていく。この現象のように、人も善良な友人と交わるようにすれば、その感化で善良になるという意味だそうです。
- 2 雨垂れ石をうがつ： 垂れ落ちる水滴でも同じ所に繰り返し当たれば、いつかは硬い石でも穴が開く。つまり、たとえどんなに小さな努力でも目標に向かって繰り返し練習していれば、いずれいい成績が出てくるという意味です。
- 3 一隅を照らす： 人間は置かれたその場所で精一杯自分の出来ることをしていくことが大事だ、最初は小さな一つの灯りであってもやがてそれが周囲に広がり大きな光となるという意味です。

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～

宇都宮市・宇都宮市教育委員会

学べば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA